

神戸の街でジャズに浸る一日を

1923(大正12)年に国内初の日本人プロジャズバンド「ラフィン・スターズ」が結成され演奏したことから、神戸は日本のジャズ発祥の地といわれています。10月には兵庫津などを舞台に無料のジャズイベントを開催します。プロ・アマさまざまなバンドが繰り広げるライブを楽しみませんか。(神戸県民センター県民課)



兵庫津JAZZ LIVE

10月5日@11時
~16時30分
兵庫津周辺(神戸市兵庫区)



1DAY JAZZ ROAD

10月18日@11時
~15時30分
ミュージアムロード
(神戸市灘区)



神戸県民センター県民課 ☎078-647-9087 ☎078-642-1018

デフバレー日本代表に 史上最年少で選出!

県立神戸聴覚特別支援学校高等部3年生の山本剛志さんは、11月に東京で開催される聴覚障害者のオリンピック「デフリンピック」の男子バレーボール日本代表に、史上最年少の18歳で選出されました。本番に向けての抱負などを聞きました。(取材・文 本紙編集部)

Q. 代表選出までの道のりは。

昨年10月から毎月、選考を兼ねた強化合宿に参加し、5月の合宿後に内定しました。内定通知の日は夜まで電話がかかってこなくて、もう駄目かと諦めかけた時の着信だったのでうれしさよりも驚きが勝りました。

Q. デフバレーボールの見どころは。

通常のバレーボールと異なるのが、選手間のコミュニケーションの取り方です。速攻や時間差攻撃を仕掛ける時は、素早い手話やアイコンタクトで意思疎通を図ります。

Q. デフリンピックへの意気込みを。

試合中、苦しい場面では声を出してチームを鼓舞したい。聞こえなくても、周りの選手には身振り手振りで伝わります。自国開催ですし、メダル獲得に貢献できるよう頑張ります。



山本剛志(やまもと・つよし)さん
2007(平成19)年明石市生まれ。小学1年生の時、6歳上の兄が中学校でバレーボールを始めた影響を受け、地元のクラブチームに入る。現在は播磨デフバレーボーイズに所属。身長172cm。ポジションはリベロとセッター。

陸上養殖のトラフグが誕生

2022(令和4)年6月に朝来市で起業し、24年6月、県内初の陸上養殖によるトラフグ「但馬とらふぐ」が誕生しました。生物ろ過によって浄化した水で育てる閉鎖循環式養殖システムを採用。水温を一定に保てる上、水流も自由に作り出せるため、フグは最適な環境で育ち、いつでも旬のおいしさです。養殖場で、水揚げから1分以内に締めるので鮮度も抜群です。今後も試行錯誤や改善を重ねながら養殖技術の向上を図りたいと思います。(朝来食品代表 中村峻さん)

朝来食品
090-1716-5013



「但馬とらふぐ」は朝来市のふるさと納税返礼品にもなっています。

谷崎潤一郎の旧邸を VRで復元

鎖瀾閣VR復元
紹介ムービーは
こちら



神戸市東灘区にあった作家、さらんかく谷崎潤一郎の旧邸「鎖瀾閣」は谷崎自らが設計し、1928(昭和3)年に建てられました。和洋中の要素が融合した独特の構造でしたが、阪神・淡路大震災で全壊しました。「どんな建物だったのかを正確に残しておこう」と改めて資料を整理し、実際に見て回っているような感覚になるVR(仮想現実)映像を作成、2月から公開しています。谷崎には私生活を反映した作品が多く、暮らしぶりを知ることによって作品の味わいも深くなります。旧邸をVRで体感してください。(NPO法人潤理事長 たつみ都志さん)



1 倒壊前の鎖瀾閣(南面)。写真提供: 芦屋市谷崎潤一郎記念館 2 VR映像(北西から見た外観)。奥から客間棟、階段棟、書斎棟。書斎棟の手前には出入り口のある平屋の小部屋も。画像提供: NPO法人潤

VR映像は別の旧邸「いしやうあん倚松庵」で公開中...

土曜、日曜、祝休日10時~16時
倚松庵(神戸市東灘区住吉東町1-6-50)
同施設 ☎078-842-0730 ☎078-391-0978